


府省名	経済産業省	部署名	資源エネルギー庁電力・ガス事業部電力 基盤整備課
取組のポイント			
「課長のトリセツ」作成による管理職と課員とのコミュニケーション活性化や、課内打合せのペーパーレス化、審議会へのSkype参加、承認業務の届出化、「業務ダイエット計画」の人事評価への反映などによる業務効率化			
取組概要			
<p>【取組の背景】 経済産業省として産業界に生産性向上を働き掛けているにもかかわらず、自らの生産性が低いのではないかという問題意識の下、課全体のアウトプットを向上するため、限られた時間で集中し、仕事の質を高めるべく総合的に取り組んだもの。</p> <p>【取組の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課長自ら業務の進め方に関する主要なポイント(トリセツ)を作成し、課員へ見える化し、「マネージャーの行動規範」を確立、部下の納得感も向上。また、週1回の課内会議で業務の懸案事項を共有し、業務の手戻りや事故を防止。 ・ 審議会委員への事前レクのSkype化、審議会のSkype参加などICTツールの活用による業務改善や、国会答弁のデータベース化、フォルダ整理ルール作成などによる体系的な資料保存を推進。 ・ 「業務ダイエット期間」を定め、承認業務の届出化、官報掲載をHP掲載に変更、係員が行っている単純業務のアウトソース化などによる業務の見直しを実施。 ・ 働き方改革について課内で定期的に議論。各種取組を人事評価の目標設定、業績設定とも連動させるなど、PDCAサイクルを回し、継続性・実効性を担保。 <p>【取組の成果】 承認業務の届出化により50時間の削減、官報掲載をHP掲載に変更により40時間の削減など、定例・定型業務を削減・効率化。生産性も向上し、1人当たりの超勤時間は、29年と比べ、7月は約1割減、8月は約4割減と大幅な削減に成功。</p>			
			
Skype参加する審議会委員		働き方改革について課内で議論	
講評			
業務効率化のみならず、課長自ら「課長のトリセツ」を作成するなど、コミュニケーションの円滑化や、仕事の質向上を考慮している点を評価。マネジメント者と定期的に業務の進捗状況を共有するなど、基本的だが重要なポイントを押さえている。			